

平成30年度
岩手県中学校新入生学習状況調査
結果報告

平成30年7月
岩手県教育委員会

平成 30 年度岩手県中学校新入生学習状況調査結果報告

目 次

I 調査結果の概要	・・・・・・・・	2
1 調査についての基本的な考え方		
2 調査のねらい・内容等		
3 教科調査結果の概要		
4 生徒質問紙調査結果の概要		
II 各教科の調査結果の概要とその分析		
○ 国語 <授業改善の手引>	・・・・・・・・	4
○ 数学 <授業改善の手引>	・・・・・・・・	9
III 生徒質問紙調査の結果	・・・・・・・・	15

I 調査結果の概要

1 調査についての基本的な考え方

学習状況調査は、生徒の実態や指導の状況を検証し分析するツールの一つであり、県教育委員会のもとより、各市町村教育委員会、各小・中・義務教育学校においても調査結果を分析し、定着の状況や指導の状況を検証し、指導の充実や授業の改善に向けて活用していくためのものである。

2 調査のねらい・内容等

- 各中学校・義務教育学校後期課程において新入生一人一人の学習の定着状況を把握し、その結果を基に指導の充実を図ること。また、各小学校・義務教育学校前期課程では、出身小学校別の分析資料等から小学校・義務教育学校前期課程での学び全般の実態を捉え、今後の指導に生かすこと。さらに、各地域の小中連携会議等における指導改善に向けた協議等で活用する資料とし、小中の系統性を意識した指導の充実を図り、児童生徒の学力保障に資すること。
- 全県的な規模で小学校・義務教育学校前期課程修了段階における学習の定着状況を把握するとともに、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本県児童生徒の学力向上に資すること。

【調査実施日】 平成30年4月17日(火)

【調査対象】 公立中学校・義務教育学校後期課程第1学年 国語・数学・生徒質問紙調査

【調査人数】 国語(9,557人) 数学(9,559人) 生徒質問紙調査(9,559人)

3 教科調査結果の概要

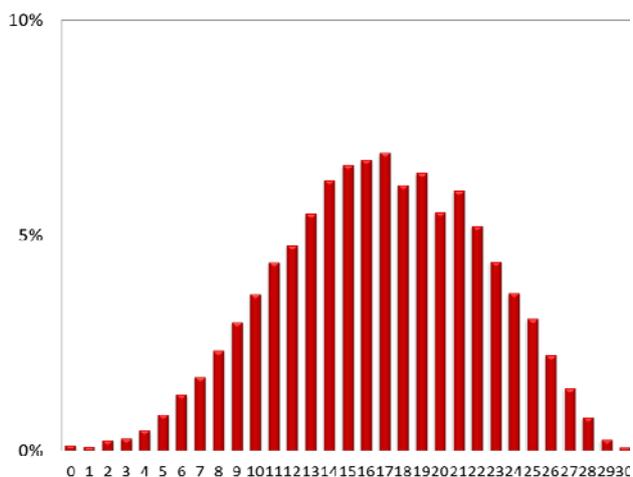
(1) 各教科の平均正答率及び中央値

国語	平均正答率	56%	中央値	57%
数学	平均正答率	67%	中央値	70%

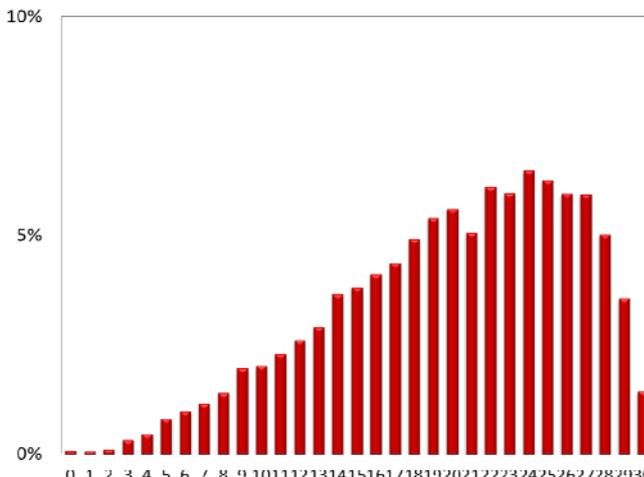
注1) 中央値：代表値の一つで、有限個のデータを小さい順に並べたとき中央に位置する値。本調査の場合、全対象者を正答率順に並べて、ちょうど真ん中に位置する値を指す。

(2) 各教科の正答数分布状況

◆国語 (H30 中1)



◆数学 (H30 中1)



(3) 分布状況から見える主な特徴等

教科調査結果の特徴として、以下の3点を捉えた。

ア 正答数5問以下の生徒の割合が国語1.9%、数学1.7%と少なく、きめ細かい指導の成果が表れている。

イ それぞれの教科で、以下に示す問題について、改善傾向が見られる。

教科	調査問題のねらい	正答率(%)	H29 正答率 (%)
国語	登場人物の心情を読む	64	43
	表やグラフから読み取ったことをまとめて書く	50	36
数学	あまりのある小数の除法のしかたを理解している	77	71
	基準量と割合を基に比較量を求める	69	59

また、以下に示す問題では、課題が継続している。

教科	調査問題のねらい	正答率(%)	H29 正答率 (%)
国語	根拠に基づいて自分の考えを書く	36	41
数学	資料から根拠を明らかにし、自分なりに説明する	51	54

ウ 昨年度の岩手県学習定着度状況調査から、小・中ともに記述の問題における「無解答率」の高さが課題となり、県教育委員会では、主体的かつ諦めずにやり抜く態度の育成を各学校に周知し、取り組んできている。本調査の結果、国語において、「根拠に基づいて自分の考えを書く」問題において、正答率は昨年度より下がったものの、無解答率が5ポイント減少した(32%→27%)。同様に、他の記述問題の無解答率も減少しており、各小学校における取組の成果が表れてきたと捉えている。今後も、上記の課題を含めて、さらなる改善に取り組んでいく。

◆国語記述問題の無解答率

※()内はH29年度の値

出題の趣旨	正答率	無解答率
段落構成を考えながら指定された長さの文章を書く	50 (51)	21 (24)
表やグラフから読み取ったことをまとめて書く	49 (36)	23 (25)
根拠に基づいて自分の考えを書く	36 (41)	27 (32)

4 生徒質問紙調査結果の概要

- (1) 生徒の「自己肯定感」についての項目を見ると、同一集団の小5との比較では下がっているものの、中学入学時点の数値は、昨年度入学の学年と比較すると高まっている。その要因の一つとして、教師から「認められる」「ほめられる」機会が増えていることが考えられる。学習内容を振り返る活動の設定をはじめ、授業改善の取組が各学校で進んでおり、児童生徒の「自己肯定感」については、「授業の内容がわかる」とともに、これからも注視していく。
- (2) 家庭学習の取組について、「どちらかといえばしていない」「していない」生徒が26%となっており、計画的に家庭学習に取り組むことができるよう指導する必要がある。

質問事項 15:自分にはよいところがあると思う

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	31	46	15	7
		77		22	
中学1年	H29	26	44	19	10
		70		29	
	H30	25	47	18	10
		72		28	

※H30 中1とH28 小5は同一集団

質問事項 24:小学校のとき、先生はよいところを認めてくれた

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	55	33	7	4
		88		11	
	H30	57	33	7	3
		90		10	

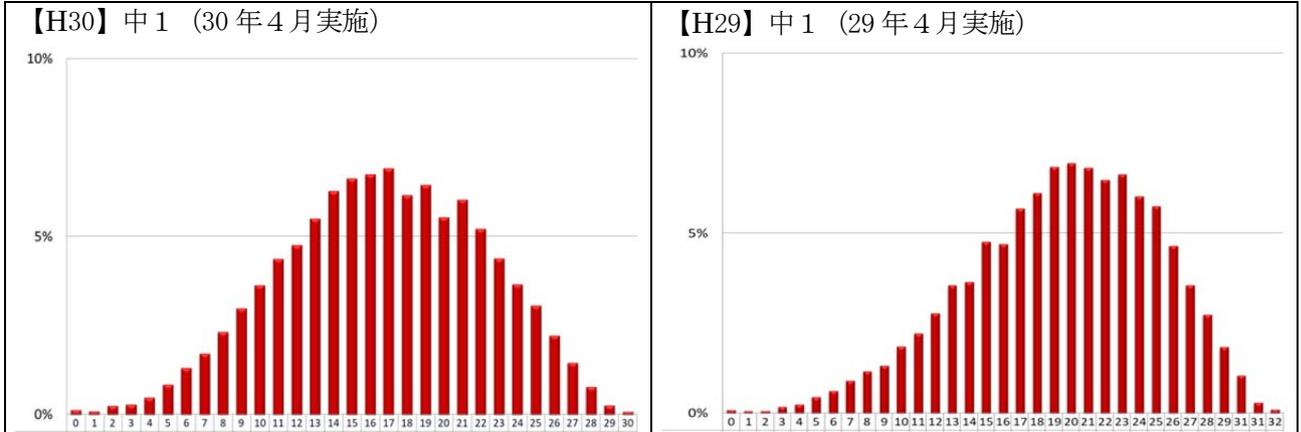
質問事項 7:家で、自分で計画を立てて勉強している

学年	年	している	どちらかといえば している	どちらかといえば していない	していない
小学5年	H28	25	39	22	14
		64		36	
中学1年	H29	33	41	18	8
		74		26	
	H30	33	41	18	8
		74		26	

授業改善の手引 中学校第 1 学年国語

1 調査結果

(1) 分布状況



- 問題数は、昨年度より 2 問少なく 30 問、正答数の最頻値は 17 問、平均正答数は 16 問です。昨年度と比較すると、分布の山に大きな変動はありませんが、正答数の最頻値より高い正答の割合は 44%、低い正答の割合は 47%で、分布の山が左に移動しています。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

(2) 領域等の正答率

領 域 等	正答率		
	() は H29 新入生学調、〈 〉 は H28 県学調 (小 5)		
話すこと・聞くこと (4 問)	72%	(75%)	〈74%〉
書くこと (3 問)	45%	(42%)	〈47%〉
読むこと (10 問)	44%	(41%)	〈51%〉
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (13 問)	62%	(74%)	〈65%〉
活用 (3 問)	49%	(39%)	〈43%〉

(3) 結果概要

- 領域ごとの正答率において、「書くこと」が 45%、「読むこと」が 44%と、昨年度をそれぞれ 3 ポイント上回りました。特に、小問ごとの正答率において、「文章の内容を的確に押さえて読む」問題が 77% (+41 ポイント)、「場面の移り変わりを読む」問題が 38% (+12 ポイント)、「表やグラフから読み取ったことを書く」問題が 50% (+14 ポイント) で、よい状況にあります。また、活用問題 (3 問) が 49%と昨年度を 10 ポイント上回りました。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の「理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べる」問題においては、正答率が 84%と昨年度を 7 ポイント、「文の構成について理解する」問題においては 84%と昨年度を 19 ポイント、それぞれ上回り、改善傾向にあります。
- 領域ごとの正答率において、「話すこと・聞くこと」が 72% (-3 ポイント) と昨年度を下回る結果となりました。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」においては、62% (-12 ポイント) と下回りました。特に、「熟語の構成を意味とのかかわりから理解する」問題が 19%と昨年度を 46 ポイント下回る等、各小問の正答率の低さが目立ちました。
- また、「読むこと」領域の小問「目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読む」問題における無解答率の割合が 13%と昨年度より 4 ポイント上回ったことから、指導の工夫が必要な状況にあります。

(4) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選択 No. (人)							
大問	中問	小問	通番号						1	2	3	4	5	6	0	
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答	
1	(1)	1		話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	第5・6学年「話・聞」(1)エ	話・聞		76						24	76	
	(2)	2		話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	第5・6学年「話・聞」(1)エ	話・聞		73	2	73	24	1				
	(3)	3		話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く。	第5・6学年「話・聞」(1)エ	話・聞		81	3	8	7	81				
	(4)	4		話し合いにおける司会の役割がわかる。	第5・6学年「話・聞」(1)オ	話・聞	経年	57	19	11	57	13				
2	(1)	①	5	第6学年配当漢字「郷里」を正しく読む。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		66					30	66	3	
		②	6	第6学年配当漢字「供える」を正しく読む。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		83					16	83	1	
	(2)	①	7	第5学年配当漢字「豊富」を正しく書く。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		58					25	58	17	
		②	8	第5学年配当漢字「慣れる」を正しく書く。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		58					15	58	26	
	(3)	9		日常使われる敬語を正しく使う。	第5・6学年「伝国」(1)イ(ク)	伝国		88					9	88	2	
	(4)	10		ローマ字で表記されたものを読む。	第3・4学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		77	6	77	8	8	1		1	
	(5)	ア	11	理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べる。(漢字辞典、部首・画数)	第3・4学年「伝国」(1)イ(カ)	伝国		54						32	54	14
		イ	12	理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べる。(漢字辞典、部首・画数)	第3・4学年「伝国」(1)イ(カ)	伝国		84						12	84	4
	(6)	13		和語・漢語・外来語の区別について理解する。	第5・6学年「伝国」(1)イ(エ)	伝国		45						40	45	15
	(7)	14		熟語の構成を意味との関わりから理解する。	第5・6学年「伝国」(1)イ(エ)	伝国		19	19	11	5	64	1		1	
(8)	15		文の構成について理解する。(修飾語)	第5・6学年「伝国」(1)イ(キ)	伝国	経年	84	4	11	84	1					
(9)	16		故事成語の意味や使い方を理解する。	第3・4学年「伝国」(1)ア(イ)	伝国		36	22	7	34	36			1		
(10)	17		文脈に沿って、漢字を適切に使う。	第5・6学年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		57						29	57	14	
3	(1)	18		場面の移り変わりを読む。	第3・4学年「読」(1)ウ	読		38						59	38	3
	(2)	19		登場人物の心情を読む。	第5・6学年「読」(1)エ	読	経年	24						67	24	9
	(3)	20		場面の描写と登場人物の様子を読む。	第5・6学年「読」(1)エ	読		30						59	30	10
	(4)	21		登場人物の心情を読む。	第5・6学年「読」(1)エ	読	経年・活用	64	12	9	64	12	1		2	
	(5)	22		表現の仕方をとらえて読む。	第5・6学年「読」(1)エ	読		47	47	10	13	27	1		2	
4	(1)	23		文章の内容を的確に押さえて読む。	第5・6学年「読」(1)ウ	読		77	12	4	4	77	1		2	
	(2)	24		文章の内容を的確に押さえて読む。	第5・6学年「読」(1)ウ	読		50					43	50	8	
	(3)	25		目的に応じて、中心となる語や文をとらえて読む。	第3・4学年「読」(1)イ	読		31					57	31	13	
	(4)	26		文章の要旨をとらえて読む。	第5・6学年「読」(1)ウ	読	経年・活用	34					51	34	15	
	(5)	27		文章の構成をとらえて読む。	第5・6学年「読」(1)ウ	読	経年	45	13	45	22	8	1		11	
5	条件①	28		段落構成を考えながら指定された長さの文章を書く。	第3・4学年「書」(1)イ	書		50						29	50	21
	条件②	29		表やグラフから読み取ったことをまとめて書く。	第5・6学年「書」(1)エ	書	経年・活用	49						28	49	23
	条件③	30		根拠に基づいて自分の考えを書く。	第5・6学年「書」(1)ウ	書	経年	36						36	36	27
全体正答率								56								

※整数値で表示のため、合計が100にならない場合があります。

2 指導のポイント

(1) 司会者、発言者の役割を位置付けた話し合い活動を充実させましょう。

ア 問題の概要

1 (4) 話し合いにおける司会の役割がわかる。 第5・6学年「話・聞」(1)オ 正答率 57%

イ 誤答分析

誤答を分析すると、「最初に話し合いの全体の流れについて確認していた」「提案の共通点とちがう点について整理していた」を選び、実際の話し合いの展開とは異なるものを工夫と捉える傾向が見られました。

ここでは、司会者が、話題に沿ってどのように話し合いを進行しているかを捉えながら聞く力に課題があると考えられます。

ウ 指導上の留意点

(ア) 話し合いにおける司会者の役割については、既に小学校第5学年及び第6学年(指導事項エ)で学習しています。中学校第1学年では、小学校段階での学習内容を改めて理解させるとともに、様々な機会を捉えて習熟させていく学習につながります。

(イ) 指導に当たっては、小学校で経験した話し合い活動(司会者や発言者の役割を決め、立場や意図を明確にしながらいっしょに計画に沿って話し合う)を踏まえ、論点や発言内容の整理、発言の促しといったこれまでの学習を具体的に振り返るとともに、話題や展開を捉えながら互いの発言を結び付けて考えをまとめていく話し合いの学習に発展させていくことが大切になります。

(2) 人物像や内面にある深い心情を捉えられるよう、物語の内容と表現の特徴を関連付けながら分析的に捉え、その効果について自分の考えをもつ学習活動を充実させましょう。

ア 問題の概要

3 (3) 場面の描写と登場人物の様子を読む。 第5・6学年「読」(1)エ 正答率 30%

イ 誤答分析

無解答率は10%でした。誤答を分析すると、線部(引用文)の直前から理由に当たりそうな記述を見つけた書き抜きや、「どのような体験がきっかけか」の「体験」に引きずられた心情を含まない文の解答が多く見られました。また、一文の初めの五字を抜き出す条件を踏まえていない解答も見られました。

この問題は、登場人物の心情を捉えるために、直接的な心情表現や暗示的な心情表現などに注意して、想像を豊かにしながら読む力が求められます。登場人物の心情の変化を読み取るための手がかりとして、文脈をたどりながら場面展開や情景描写等に注目して読むことに課題があると考えられます。

ウ 指導上の留意点

(ア) 小学校第3学年及び第4学年では、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むことについて、小学校第5学年及び第6学年では、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることについて学習しています。このことは、中学校第1学年の、場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てる学習につながります。

(イ) 指導に当たっては、登場人物の見方や考え方を直接表している心情描写と、暗示的に表している登場人物相互の関係に基づいた行動描写や情景描写などを重ねて、内面にあるより深い心情を捉える学習が大切です。そのためには、例えば登場人物の相互関係を捉える人物相関図を用いて読む言語活動を設定し、描写や表現の効果に着目しながら、人物像につながる複数の叙述を関連付けて読み、優れた叙述に着目して様々な表現効果についても考えることができるようにしましょう。

こうした学習は、根拠を明確にした解釈を互いに出し合っ、その思考過程を辿ったり妥当性を吟味したりすることによって、個々の内容の理解を深めたり広げたりすることにつながります。

(3) 得た情報の中から自分の考えの根拠となる事柄を捉え、根拠を明確にして書く学習を大切にしましょう。

ア 問題の概要

5 条件② 表やグラフから読み取ったことをまとめて書く。 第5・6学年「書」(1)エ 正答率49%
条件③ 根拠に基づいて自分の考えを書く。 第5・6学年「書」(1)ウ 正答率36%

イ 誤答分析

誤答の多くは、条件②に反して「A・Bそれぞれのグラフから読み取ったことを、まとめてそれぞれ形式段落として分けて書いてしまうもの」、条件③に反して「読み取ったことに対する思いは書いているものの『これから自分が読書に関してどのように取り組んでいきたいか』という内容と関係のないもの」でした。

この問題では、複数の資料から読み取ったことを適切な言葉や数値を用いて記述する力や、それらに関連付けて根拠とし、自分の考えを明確にする力が求められています。「複数の資料に関連付けて読み取することはできるが条件通りに記述できない」、「関連付けて考えてはいるが問いを正確に理解しておらず求められていることを答えることができない」という傾向があり、指定された条件通りに文章を書く経験が不足していることが考えられます。

ウ 指導上の留意点

- (ア) 小学校では、第5学年及び第6学年の「書くこと」の指導事項ウ・エにかかわって、事実と感想、意見などを区別して書く学習や図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書く学習を行っています。このことは、中学校第1学年の「書くこと」の指導事項ウ「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと」につながります。
- (イ) 指導に当たっては、例えば、日常生活の中からテーマを見つけて調査報告文を書いたり、記録文にまとめたりする言語活動を設定することが効果的です。その際、説明や記録の文章を分かりやすくするために、図表を利用して自分の考えを書く活動を位置付けましょう。推敲では、論の筋道が通るか、根拠は適切か、説得力があるか等について吟味させることが重要です。交流を通してできるだけ多くの生徒作文に触れさせることも大切にしましょう。

(4) 説明的な文章の内容を把握しながら、目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読む学習活動を充実させましょう。

ア 問題の概要

4 (3) 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読む。 第3・4学年「読」(1)イ 正答率 31%

イ 誤答分析

無解答率は13%でした。誤答を分析すると、図で示された部屋の条件ではなく、実際に小鳥がさえずり始めた部屋の条件を解答する傾向が多く見られ、二つの部屋の条件の違いを表す語や、観察結果を表す文に着目できなかったという要因が考えられます。

ここでは、中心となる語や文を捉えながら、文章に書かれている内容と図を結び付けて読むことが求められます。文章と図表などとの関連を考えながら読み、書き手の伝えたい内容をよりの確に読み取る力に課題があることが考えられます。

ウ 指導上の留意点

- (ア) 小学校では、第3学年及び第4学年の指導事項イを受けて、第5学年及び第6学年では、目的に応じて文章の要旨を捉えたり、自分の考えを明確にしながらかんだりすることを学習しています。このことは、中学校第1学年「読むこと」の指導事項イ「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。」につながります。
- (イ) 指導に当たっては、図表などが文章の中心的な部分、または付加的な部分のどこに関連しているかを確認し、図表を用いている筆者の意図を考えながら、筆者の伝えたい内容を読む指導が必要です。図表が使われている文章を読み、図表が文章をより分かりやすくするために使われているか、文章が図表の解説になっているか、筆者の主張の根拠としてふさわしい用いられ方であるかを捉え

ることです。そして、説明や記録の文章を書く際に、図表などを効果的に用いて考えを伝えることの有用性を実感できる言語活動を、単元の中に意図的に位置付けていきましょう。

次に、展開例を掲載します。

【図表の役割と効果に着目し、筆者の意図を考えながら説明の文章を読む言語活動を位置付けた展開例】

教材例 シカの「落ち穂拾い」－フィールドノートの記録から－（光村図書 1年）

《単元指導計画》

次	時	主な学習活動
1	①	○初発の感想を基に、学習計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者の「考察」は、なぜ説得力があるのか 解明しよう。</div> ○新出漢字、語句の確認をする。
2	②	○課題に対する考えを交流し、分類する。 ・構成（「考察」の導き出し方） ・図表の活用
	③	○小見出しを手がかりに文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、どんな手順で「考察」導き出したか確認する。
3	④	○図表の役割や効果について考える。
	⑤	○筆者の論の展開について考えたことをまとめる。 ○単元で付いた力を振り返り、次単元での活用の見通しをもつ。 ※次単元：「調べたことを報告しよう」 （生かす力：構成の工夫、図表の活用）

《第4時：「図表の役割や効果を考える」》

導入	1	課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者は、なぜこれらの図表を用いたのだろうか。</div>
	2	学習の見通しをもつ。 ・図表と文章をつなげて読み、実際の効果について分析することを確認する。
展開	3	課題を解決する。（グループ）→下図A
	4	図表の効果を検証する。（全体） →下図B
	5	図表を用いた筆者の意図についてまとめる。
	6	妥当性について考えをまとめる。（個） ① 図表の必然性について説明する。 ② 有効な図表案について提案する。
終末	7	振り返り ・図表の有効性 ・分析の過程

《図A「課題解決」》

春になると、シカの食物が不足するという仮説が正しいと証明できると筆者は考えて図2を使ったのかも。

表2は、サルの方が高栄養価を示しているから、これも仮説の証明として使っているんだね。



表2に加え、図3で体重が軽くなる季節を示すことで、栄養状態の悪い春にサルの落とす栄養価の高い食物が必要になるという考察につながっていると思うわ。考えの根拠となる事実ね。

表の効果については小学校でも学習したけど、文章とつなげて考えると「筆者の意図」を捉えることができるね。でも、本当に全部必要なかな。

《図B「検証」》

「図2 イネ科の草の供給量の変化」（教科書P122）から「分かること」を列挙する。

↓

グラフから「分かること」と文章を比較し、グラフの示す事実と文章のつながりを確認する。

↓

グラフ中の複数の情報から、筆者が仮説を証明するために有効だと判断した情報に着目して、筆者の意図を捉え、その妥当性について自分の考えをもつ。

「妥当性がある」
→まとめ①へ

「妥当性に欠ける」
→まとめ②へ

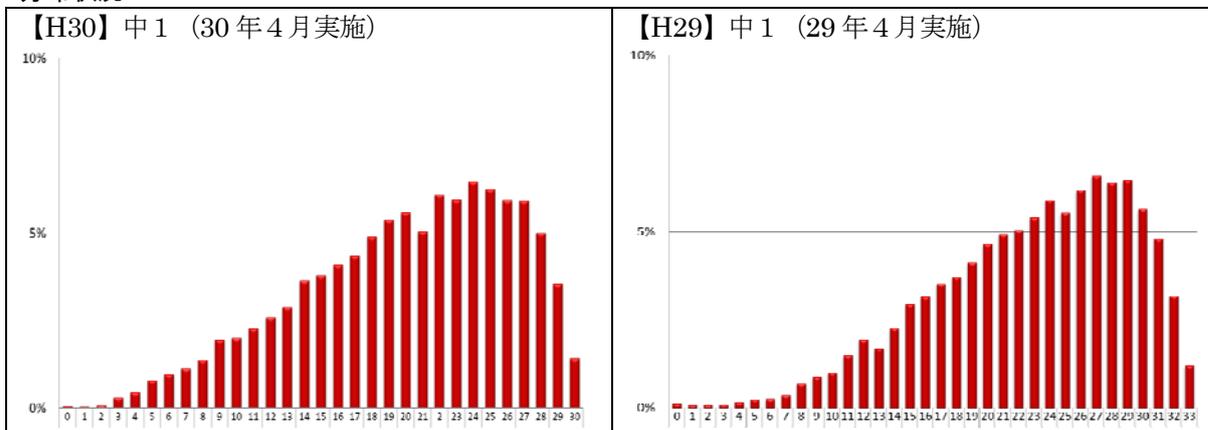
④

「どのような効果があるか」「何に対する根拠か」等の分析を通して「図表の効果」についての理解を深め、適切に図表を活用する学習活動につなげていきましょう。

授業改善の手引 中学校第1学年数学

1 調査結果

(1) 分布状況



- 新入生学習状況調査の問題は、昨年度同様、小学校の授業で経験してきたものが出題されています。結果は、正答数の最頻値は24問、平均正答数は20問で、平均正答数未満の生徒は43%います。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

(2) 領域等の正答率

領域等	正答率			観点等	正答率		
	()はH29新入生学調	()はH29新入生学調	< >はH28県学調(小5)		()はH29新入生学調	()はH29新入生学調	< >はH28県学調(小5)
数と計算 (7問)	82%	(79%)	<78%>	数学的な考え方 (9問)	52%	(58%)	<61%>
量と測定 (8問)	59%	(63%)	<62%>	数量や図形についての技能 (14問)	74%	(75%)	<74%>
図形 (5問)	68%	(69%)	<74%>	数量、図形などについての知識・理解 (7問)	71%	(73%)	<78%>
数量関係 (10問)	61%	(66%)	<71%>	活用 (7問)	47%	(50%)	<53%>

(3) 結果概要

- 領域ごとの正答率を比較すると、「数と計算」が他領域に比べ高くなっています。
- 観点ごとの正答率を比較すると、「数量や図形についての技能」の定着が図られているといえます。
- 「活用」については、基準量と割合を基に比較量を求めることに大きな伸びが見られます。
- 単位量当たりの大きさの考えを用いて混み具合を説明すること、比較量と割合を基に基準量を求めることの課題が継続しています。
- グラフから集団の特徴を読み取ることに課題が見られています。
- 「数学的な考え方」で、2つの帯グラフを比較し、全体と部分の関係を調べ、結論の根拠を説明することに課題が見られます。

(4) 経年比較問題等の状況

問題番号	正答率	比較問題	比較	内容(調査問題のねらい)
7 ア	58%	H29 7 ア	0	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混み具合を説明することができる。
イ	55%	イ	0	
14 (1)	69%	H29 14 (1)	10	基準量と割合を基に比較量を求めることができる。
18 (1)	68%	H29 17 (1)	-12	グラフから集団の特徴を読み取ることができる。

(5) 小問別正答率

問題番号			調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選択 No. (人)						
大問	中問	小問						1	2	3	4	5	6	0
								選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答
1	(1)	1	整数の四則混合計算ができる。	4年 数と計算 (4)	技	経年	86					13	86	1
	(2)	2	小数の減法の計算ができる。	4年 数と計算 (5)イ	技		83					16	83	1
	(3)	3	分数の減法の計算ができる。	5年 数と計算 (4)才	技		86					13	86	1
	(4)	4	整数÷分数の乗法の計算ができる。	6年 数と計算 (1)イ	技		91					9	91	1
	(5)	5	分数と小数の混合計算ができる。	6年 数と計算 (1)イ	技		61					35	61	3
2		6	あまりのある小数の除法のしかたを理解している。	5年 数と計算 (3)イ	知	経年	77	3	3	77	15	1		
3		7	2つの数量の関係の表し方を理解している。	5年 数と計算 (3)ア (4)ア	知	経年	87	87	4	5	4			
4	(1)	8	ひし形の面積を求めることができる。	5年 量と測定 (1)ア	技	経年	60					36	60	3
	(2)	9	たこ形の面積を求めることができる。	5年 量と測定 (1)ア	技	経年	65	65	7	8	16	2		2
5		10	示された平均の求め方を解釈し、別の場合に活用して数学的に表現することができる。	5年 量と測定 (3)ア	考	活用	51					36	51	12
6	(1)	11	面積の求め方を図から読み取り、式に表すことができる。	6年 量と測定 (2)ア	考		74	4	74	11	9	1		1
	(2)	12	面積を求める式を読み取り、説明することができる。	6年 量と測定 (2)ア	考		58					34	58	8
7	ア	13	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混みぐあいの説明することができる。	5年 量と測定 (4)ア	考	経年	58	9	27	58	4	1		1
	イ	14	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混みぐあいの説明することができる。	5年 量と測定 (4)ア	考	経年	55	7	55	28	8	1		1
8		15	体積の求め方を式から読み取り、説明することができる。	5年 量と測定 (2)イ 6年 量と測定 (3)ア	考	活用	51					41	51	8
9		16	立方体を展開図から構成することができる。	4年 図形 (2)ア	技		89	7	2	89	1			
10		17	角柱の高さについて理解している。	5年 図形 (2)ア	知		54	38	5	2	54			
11		18	図から考えを読み取り、四角形の内角の和を求める式を立てることができる。	5年 図形 (1)ウ	考	活用	50					38	50	12
12		19	平行四辺形が点対称な図形であることを理解している。	6年 図形 (1)イ	知	経年	76	7	76	14	3			
13		20	合同な三角形をかくために必要な条件を理解している。	5年 図形 (1)イ	知		70	11	14	4	70	1		1
14	(1)	21	基準量と割合を基に比較量を求めることができる。	5年 数量関係 (3)	技	経年・活用	69	10	6	69	15			1
	(2)	22	比較量と割合を基に基準量を求めることができる。	5年 数量関係 (3)	技	経年・活用	38	29	38	24	7			2
15		23	比の利用の問題を解くことができる。	6年 数量関係 (1)ア	技	経年	54	12	15	17	54			1
16	(1)	24	伴って変わる二つの数量の関係を考察することができる。	6年 数量関係 (2)ア	知		65	10	8	16	65			1
	(2)	25	比例の関係を捉え、yをxの式に表すことができる。	6年 数量関係 (2)ア	技	経年	84	84	6	5	4			2
17	(1)	26	帯グラフから割合を読み取ることができる。	5年 数量関係 (4)	技		86					12	86	2
	(2)	27	2つの帯グラフを比較し、全体と部分の間の関係を調べ、結論の根拠を説明することができる。	5年 数量関係 (3) (4)	考	活用	22					59	22	19
18	(1)	28	グラフから集団の特徴を読み取ることができる。	6年 数量関係 (4)イ	知	経年	68	20	68	4	2			5
	(2)	29	資料から根拠を明らかにし、自分なりに説明することができる。	6年 数量関係 (4)イ	考	経年・活用	51					38	51	11
19		30	組み合わせを考えて、落ちや重なりがないように、起こり得る場合を調べることができる。	6年 数量関係 (5)	技		77					13	77	10
全体正答率							67							

※整数値で表示のため、合計が100にならない場合があります。

2 指導のポイント

(1) 「混んでいる」ことの意味を理解しているかを見る問題

ア 問題の概要

7 たくおさんの家の近くには、AプールとBプールの2つのプールがあります。
次の表は、2つのプールの面積と、入っていた人数を表したものです。

	面積 (m ²)	人数 (人)
Aプール	4 5 0	3 6
Bプール	5 2 0	4 0

たくおさんは、この表からプールのかみぐあいを調べるために、次の【見通し】を立てました。
ア、イにあてはまる正しい考えを下の①～④から**それぞれ1つずつ**選んで、その番号を書きなさい。

【見通し】

- ア から、1 m²あたりの人数を計算して調べる。
- イ から、1 人あたりのプールの面積を計算して調べる。

ア【正答率】 58%
【正答】 ③
イ【正答率】 55%
【正答】 ②

- ① 1 人あたりのプールの面積が、広いほうがこんでいるといえる。
② 1 人あたりのプールの面積が、せまいほうがこんでいるといえる。
③ 1 m²あたりにいる人数が、多いほうがこんでいるといえる。
④ 1 m²あたりにいる人数が、少ないほうがこんでいるといえる。

イ 誤答分析

この問題は、平成 29、30 年度の二年間全く同じ内容で出題されていますが、正答率はほぼ変化がありません。プールの混み具合を比べるには、②や③を基にすればよいことはわかっている、その際に何を計算して調べるかと関連付けられていないと思われる誤答が、設問(1)で 27%、設問(2)で 28%見られます。これらの生徒は、この後の立式や計算で、さらにつまづくことが予想されます。生徒の学習状況を確認し、立式の前に基になる意味理解を大切にする必要があります。

(参考)

年度・学年	問題番号	問題の概要	正答率 (%)
H29 中学校 新入学生学調	9ア	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混みぐあいを説明することができる。	59%
H29 中学校 新入学生学調	7ア	単位量当たりの大きさの考えを用いて、混みぐあいを説明することができる。	58%

ウ 指導上の留意点

「混んでいる」ということの意味理解を確実にする指導を心がけましょう！

この結果から、生徒たちは立式の前で既につまづいている可能性があります。計算によって数値を導き出す前に、その前提として「どんなときに混んでいるといえるのか」という意味理解が確実にできれば、導き出した結果を用いて筋道立てて比較することはできません。教科書でも、単元の冒頭で、様々な場面を通して「混んでいる」ことの意味を理解する活動が設定されています。学習指導に当たっては、混み具合を比べるときは、常にこの意味に立ち返って比べることを心がけたいものです。

なお、新学習指導要領では、より系統性を重視して、第4学年で「簡単な場合の割合」（いわゆる「倍の計算」）が内容として追加されました。意味理解を大切にした学習経験を積み重ね、生徒たちが数学的な見方・考え方を働かせ、学びの系統性を見通しながら、第5学年「単位量当たりの大きさ」の学習につなげることができるようにならねばなりません。

(3) 2つの帯グラフを比較し、結論の根拠を説明できるかをみる問題

ア 問題の概要

17 下のグラフは、東小学校と西小学校の、1月のけが調べの結果をけがの種類ごとに東小学校と西小学校の切り傷の件数について、だいきさんは次のように言いました。表したものです。
次の(1)、(2)に答えなさい。

	すりきず	打ぼく	切りきず	ねんざ	その他
東小学校 60件	40%	<input type="text"/>	20%	8%	7%
西小学校 100件	43%	25%	16%	10%	6%

割合は東小学校のほうが高いから、
件数も東小学校のほうが多くなると思う。

だいきさんの発言を聞いたかつやくんは、次のように言いました。

だいきさんの言ったことは正しくないと思います。
なぜかというと、・・・

(2) かつやくんの発言のとおり、だいきさんの言ったことは正しくありません。
その理由をことばと式を使って説明しなさい。

【正解】 全体の件数が東小学校と西小学校では違うからです。
東小学校の切り傷の件数は、 $20\% = 0.2$ $60 \times 0.2 = 12$ 12件
西小学校の切り傷の件数は、 $16\% = 0.16$ $100 \times 0.16 = 16$ 16件
割合は東小学校の方が大きいけれど、実際の件数は西小学校の方が多いからです。
※下線部分を書かれていれば正解

【正答率】 22% **【無解答率】** 19%

イ 誤答分析

誤答の中には、次のようなものが多く見られています。

- ・東小学校と西小学校では、全体の件数が違うので1%にあたる件数が違ってくるから。
- ・割合は東小学校の方が大きいけど、全体の件数は西小学校の方が大きいので、実際の件数は違ってくるから。

このように解答した生徒は、「だいきさんが言ったことは正しくない」ことは分かっているものの、数値や式を使って、その理由を適切に説明することができなかつたと考えられます。

ウ 指導上の留意点

教師が結論(答え)を確定させてから考えさせたり、生徒の発言について問い返したりしていきましょう!

結論(答え)と根拠を併せて問い、自力解決から練り上げにかけて説明したり話し合ったりする授業が多く見受けられます。このとき、対話的な学びを通して結論(答え)を間違っていた生徒の考えが修正されればよいですが、修正されないままの話し合いが続くことがあります。いたずらに生徒が結論を出すのを待つばかりでなく、授業者が結論(答え)を確定させて、どの生徒にも論理的に考えたり説明したりする学習ができるような活動を保障することが考えられます。

また、説明をより具体的にするために、グラフから読み取れることを説明に加えさせていきましょう。

【授業展開例】

だいき：切り傷は、東小学校の割合の方が大きいから、件数も東小学校の方が多いと思います。
かつやくん：だいきさんの言ったことは正しくないと思います。
なぜかというと、東小学校と西小学校では全体の件数が違うので、割合だけではわからないと思うからです。

授業者：今の2人の発言について、みんなで考えていきます。

だいきさんは、「切り傷は、東小学校の割合の方が大きいから、件数も東小学校の方が
多い。」と考えました。正しいですか、正しくないですか、自分の立場を決めましょう。
(挙手確認)

授業者：迷っている人もいるみたいだね。

だいきさんの考えが正しいか、正しくないかは、どうすれば分かるかな？

だいき：東小学校と西小学校の実際の切り傷の件数を求めればよい。

授業者：2つの小学校の実際の切り傷の件数は、どうすれば求められるのかな？

かつや：全体の件数と割合を使えば、実際の件数を求めることができるよ。

授業者：よし！じゃあ、さっそく求めてみよう！

また、生徒の説明をブラッシュアップさせるためには、生徒の発言を教師が問い返すことが大切
です。発言をした生徒に再度説明をさせたり、発言を聞いていた生徒に説明を求めたりすることで、
論理を加えさせたり、事実・方法・根拠を具体的にさせたりしていきましょう。

授業者：2つの小学校の実際の件数は、何件になるか求められましたか？

だいき：東小学校の切り傷の割合 20%なので $20\%=0.2$ 、全体の件数が 60 件なので、実際の
件数は $60 \times 0.2 = 12$ で、12 件です。

かつや：西小学校の切り傷の割合 16%なので $16\%=0.16$ 、全体の件数が 100 件なので、実
際の件数は $100 \times 0.16 = 16$ で、16 件です。

だいき：本当だ！切り傷の割合は東小学校の方が大きいのに、実際の件数は西小学校が多い。

授業者：だいきさんは、「切り傷は、東小学校の割合の方が大きいから、件数も東小学校の方が
多い。」と考えましたが、この考えは正しくありません。その理由を、言葉と式を使っ
て説明してみましよう。

かつや：切り傷の割合は東小学校の方が大きいけど、2つの小学校の全体の件数が違うので、実
際の件数は東小学校が多いとは限りません。

実際の件数を求めてみると、東小学校の切り傷の件数は $60 \times 0.2 = 12$ の 12 件で、
西小学校の切り傷の件数は $100 \times 0.16 = 16$ の 16 件となり、切り傷の実際の件数
は西小学校の方が多くなります。

授業者：そうですね。だいきさんはどうですか？

だいき：切り傷の割合は東小学校の方が大きいけど、

実際の件数を求めてみると、東小学校の切り傷の件数は $60 \times 0.2 = 12$ の 12 件で、
西小学校の切り傷の件数は $100 \times 0.16 = 16$ の 16 件となり、切り傷の実際の件数
は西小学校の方が多くなります。

だから、東小学校と西小学校では全体の件数が違うので、割合だけでは決められないと
思います。

授業者：最初は、式や実際の件数がなかったけど、それを加えたことで、理由の説明としてよく
なりましたね。

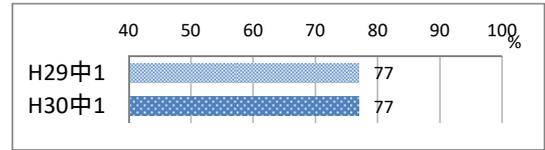
○ 生徒質問紙調査項目結果一覧

※ H30中学1年には、義務教育学校後期課程1年を含みます。

小学5年データ:10月県学調
中学1年データ:4月新入生学調

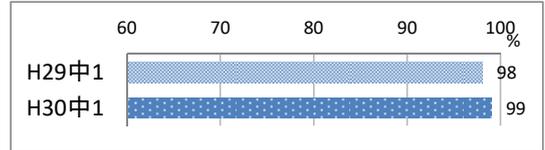
質問事項1:学校での勉強が好きですか。

学年	年	好きだ	どちらかといえば好きだ	どちらかといえば好きではない	好きではない
中学1年	H29	30	47	18	5
		77	23		
H30		30	47	18	4
		77	22		



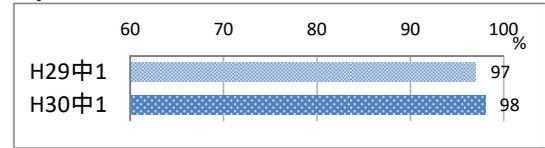
質問事項2:勉強は大切だと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
中学1年	H29	82	16	1	0
		98	1		
H30		84	15	1	0
		99	1		



質問事項3:学校の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

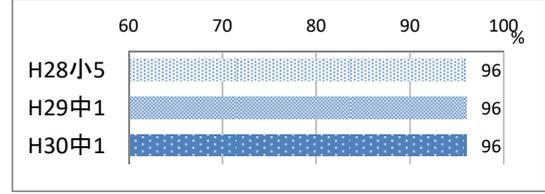
学年	年	役立つと思う	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	役に立つと思わない
中学1年	H29	76	21	2	0
		97	2		
H30		76	22	2	0
		98	2		



質問事項4:学校に行く前に朝食をとりますか。

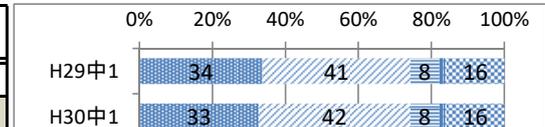
学年	年	必ずとる	とることが多い	とらないことが多い	ほとんどとらない
小学5年	H28	87	9	4	0
		96	4		
中学1年	H29	87	9	2	1
		96	3		
H30		87	9	2	1
		96	3		

H28の小学5年とH30の中学1年は同一集団です。



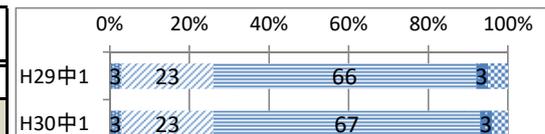
質問事項5:学校のある日の前日は、いつも、何時ごろに寝ますか。

学年	年	午後10時前に寝る	午後10時～午後11時前に寝る	午後11時～午前0時前に寝る	午前0時～午前1時前に寝る	午前1時以降に寝る	日によって違う
中学1年	H29	34	41	8	1	1	16
	H30	33	42	8	1	1	16



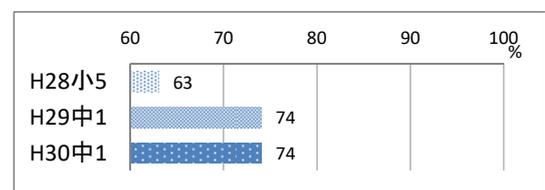
質問事項6:学校のある日は、いつも、何時ごろに起きますか。

学年	年	午前5時前に起きる	午前5時～午前6時前に起きる	午前6時～午前7時前に起きる	午前7時～午前8時前に起きる	午前8時以降に起きる	日によって違う
中学1年	H29	3	23	66	3	0	5
	H30	3	23	67	3	0	4



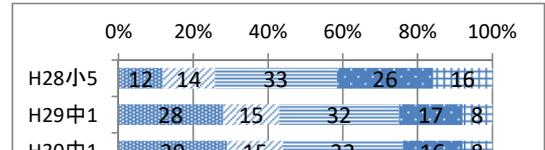
質問事項7:家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

学年	年	している	どちらかといえばしている	どちらかといえばしていない	していない
小学5年	H28	25	38	22	14
		63	36		
中学1年	H29	33	41	18	8
		74	26		
H30		33	41	18	8
		74	26		



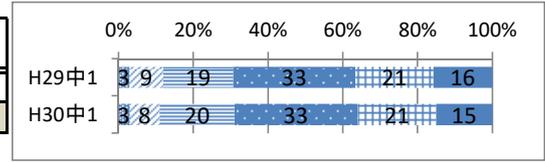
質問事項8:学校の授業以外で1日にどのくらい読書しますか。

学年	年	ほとんどしない	10分より少ない	10分以上30分より少ない	30分以上1時間より少ない	1時間以上
小学5年	H28	12	14	33	26	16
		12	14	33	26	16
中学1年	H29	28	15	32	17	8
	H30	29	15	32	16	8



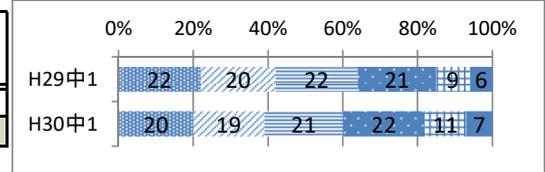
質問事項9: 1日にどのくらいテレビやビデオ、DVDを見ますか。

学年	年	全く見ない	30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
中学1年	H29	3	9	19	33	21	16
	H30	3	8	20	33	21	15



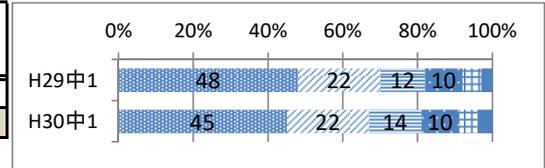
質問事項10: 1日にどのくらいテレビゲームをしますか。

学年	年	全くしない	30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
中学1年	H29	22	20	22	21	9	6
	H30	20	19	21	22	11	7



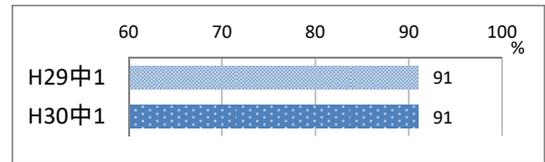
質問事項11: 1日にどのくらい携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

学年	年	携帯電話・ スマートフォンを 持っていない	30分より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	3時間以上
中学1年	H29	48	22	12	10	5	3
	H30	45	22	14	10	5	4



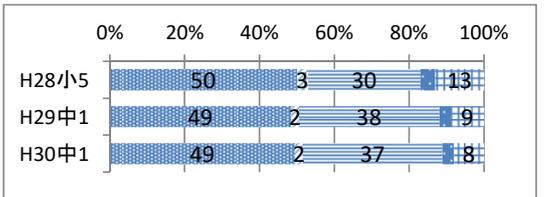
質問事項12: 学校に行くのは楽しいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	59	32	6	2
		91		8	
H30		59	32	6	2
		91		8	



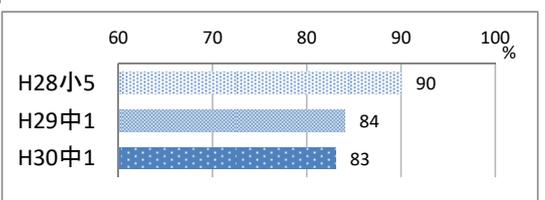
質問事項13: 自分が悩んでいることがあった時、誰に相談することが多いですか。

学年	年	家族	学校の先生	友達	その他	相談する人は いない
小学5年	H28	50	3	30	4	13
中学1年	H29	49	2	38	3	9
	H30	49	2	37	3	8



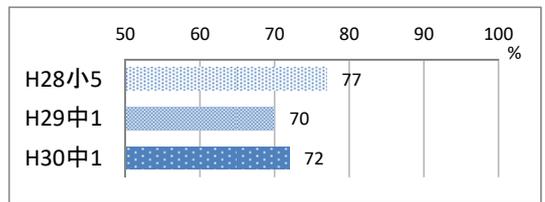
質問事項14: あなたは、将来の夢や就きたい仕事など具体的な目標をもっていますか。

学年	年	もっている	どちらかといえば もっている	どちらかといえば もっていない	もっていない
小学5年	H28	72	18	6	4
		90		10	
中学1年	H29	57	27	9	6
		84		15	
H30		55	28	10	7
		83		17	



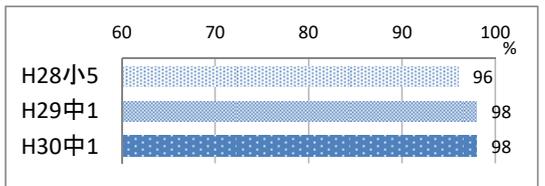
質問事項15: 自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	31	46	15	7
		77		22	
中学1年	H29	26	44	19	10
		70		29	
H30		25	47	18	10
		72		28	



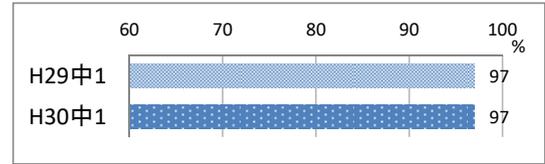
質問事項16: 人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	65	31	3	1
		96		4	
中学1年	H29	65	33	2	1
		98		3	
H30		68	30	2	0
		98		2	



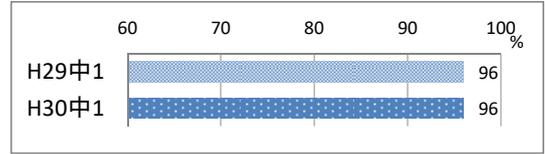
質問事項17:人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	80	17	2	1
		97		3	
H30		81	16	2	1
		97		3	



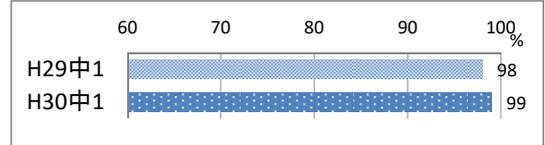
質問事項18:ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえば ある	どちらかといえば ない	ない
中学1年	H29	79	17	2	1
		96		3	
H30		80	16	2	1
		96		3	



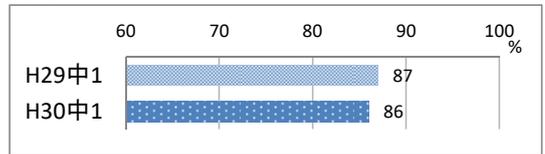
質問事項19:学校のきまりを守っていますか。

学年	年	守っている	どちらかといえば 守っている	どちらかといえば 守っていない	守っていない
中学1年	H29	72	26	1	0
		98		1	
H30		74	25	1	0
		99		1	



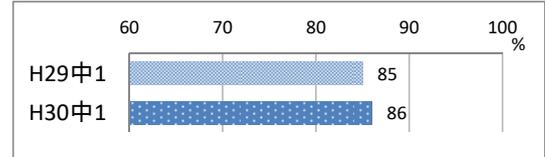
質問事項20:新聞を読んだり、テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

学年	年	そうしている	どちらかといえば そうしている	どちらかといえば そうしていない	そうしていない
中学1年	H29	49	38	9	4
		87		13	
H30		48	38	10	4
		86		14	



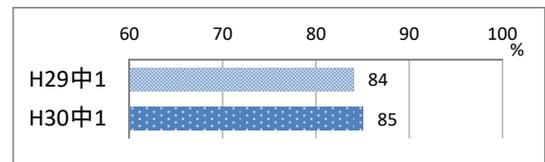
質問事項21:家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。

学年	年	話をする	どちらかといえば 話をする	どちらかといえば 話をしていない	話をしていない
中学1年	H29	54	31	10	6
		85		16	
H30		55	31	9	5
		86		14	



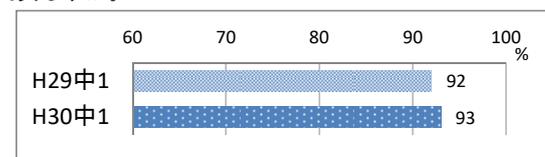
質問事項22:小学校のとき、学校に行くのは楽しかったと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	57	27	10	6
		84		16	
H30		57	28	9	5
		85		14	



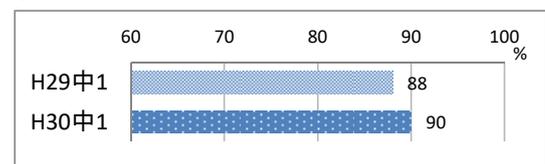
質問事項23:小学校のとき、学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかとい えばある	どちらかとい えばない	ない
中学1年	H29	69	23	5	3
		92		8	
H30		70	23	5	2
		93		7	



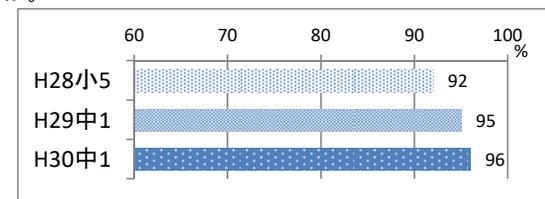
質問事項24:小学校のとき、先生はあなたのよいところを認めてくれたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わない	そう思わない
中学1年	H29	55	33	7	4
		88		11	
H30		57	33	7	3
		90		10	



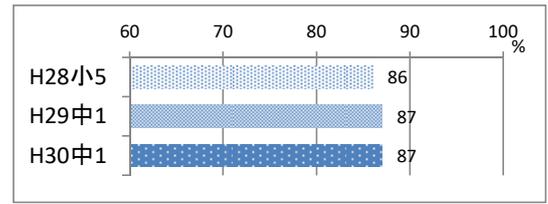
質問事項25:小学校の授業で、授業の目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わない	そう思わない
小学5年	H28	63	29	5	2
		92		7	
中学1年	H29	67	28	4	1
		95		5	
H30		68	28	4	1
		96		5	



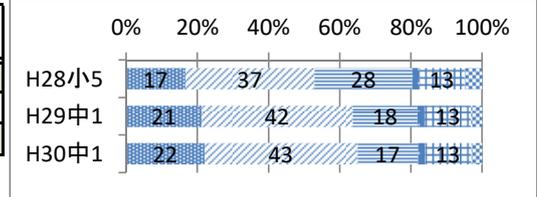
質問事項26: 小学校の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H28	48	38	10	3
		86		13	
中学1年	H29	46	41	11	3
		87		14	
	H30	47	40	11	2
		87		13	



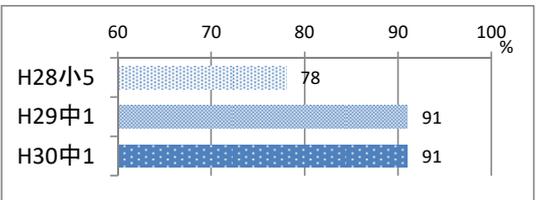
質問事項27: 小学校のとき、授業で分からないことがあると、どうすることが多かったですか。

学年	年	先生にたずねる	友達にたずねる	家の人に たずねる	塾や家庭教師 の先生に たずねる	自分で調べる	そのままにする
小学5年	H28	17	37	28	2	13	5
		21	42	18	2	13	3
中学1年	H29	21	42	18	2	13	3
		22	43	17	2	13	3
	H30	22	43	17	2	13	3
		22	43	17	2	13	3



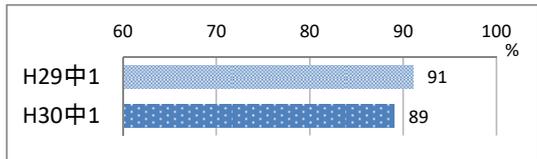
質問事項28: 小学校のときの「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか。

学年	年	取り組んでいた	どちらかといえば 取り組んでいた	どちらかといえば 取り組んでいない	取り組んでいない
小学5年	H28	34	44	16	6
		78		22	
中学1年	H29	50	41	7	1
		91		8	
	H30	51	40	7	1
		91		8	



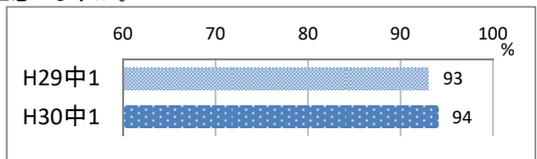
質問事項29: 小学校のときの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	52	39	8	2
		91		10	
	H30	48	41	9	2
		89		11	



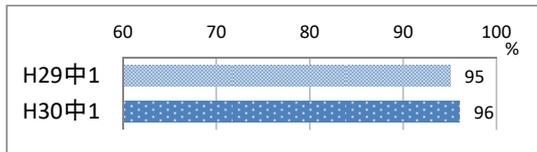
質問事項30: 小学校のときの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	65	28	5	2
		93		7	
	H30	66	28	5	1
		94		6	



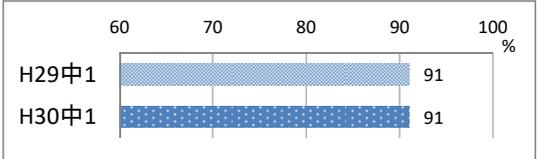
質問事項31: 小学校のときの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	69	26	4	1
		95		5	
	H30	69	27	4	1
		96		5	



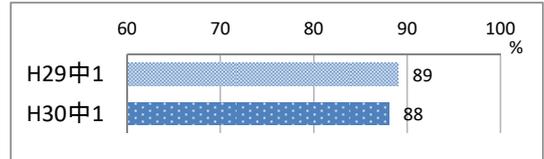
質問事項32: 小学校のときの授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	43	48	8	2
		91		10	
	H30	44	47	8	2
		91		10	



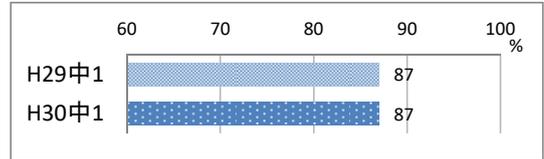
質問事項33: 小学校の国語の授業で、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	43	46	9	2
		89		11	
H30		43	45	9	2
		88		11	



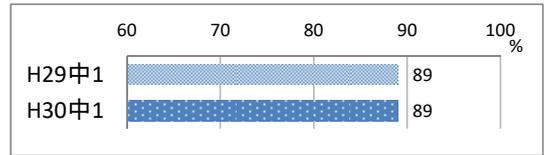
質問事項34: 小学校の国語の授業で、文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	41	46	10	3
		87		13	
H30		41	46	10	2
		87		12	



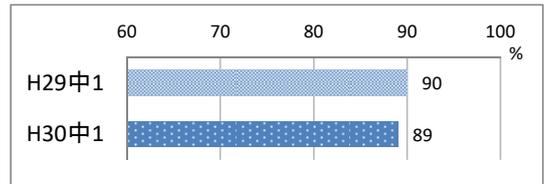
質問事項35: 小学校の算数の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考えていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	53	36	9	2
		89		11	
H30		51	38	9	2
		89		11	



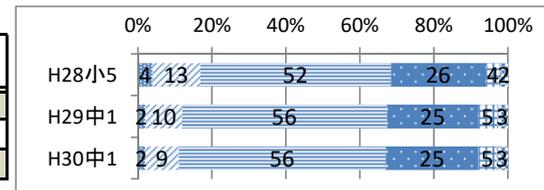
質問事項36: 小学校の算数の授業で、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	56	34	7	2
		90		9	
H30		54	35	8	3
		89		11	



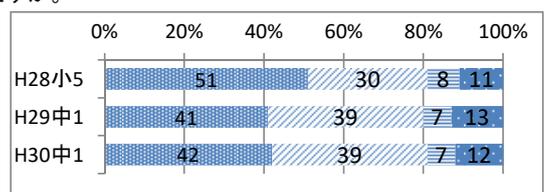
質問事項37: 小学校のとき、学校の授業以外で、1日にどのくらい勉強していましたか。

学年	年	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、 1時間より 少ない	30分より 少ない	全くしない
小学5年	H28	4	13	52	26	4	2
中学1年	H29	2	10	56	25	5	3
	H30	2	9	56	25	5	3



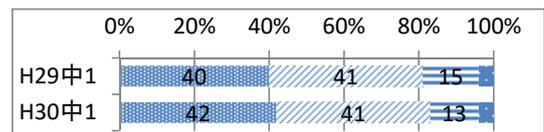
質問事項38: 小学校のとき、家庭で勉強する内容は、次のどれに近いことが多かったですか。

学年	年	宿題だけする	宿題のほか に復習をする	宿題のほか に予習をする	宿題のほか に予習と復習をする
小学5年	H28	51	30	8	11
中学1年	H29	41	39	7	13
	H30	42	39	7	12



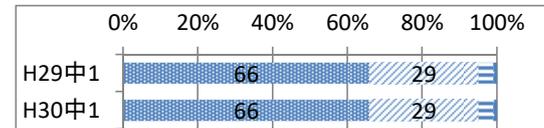
質問事項39: 中学校の国語の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H29	40	41	15	4
	H30	42	41	13	4



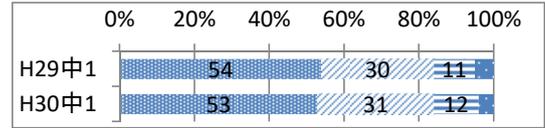
質問事項40: 小学校の国語で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	66	29	4	1
	H30	66	29	4	1



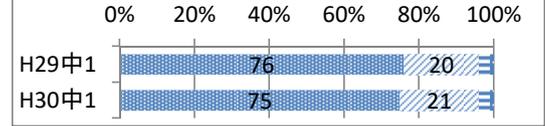
質問事項41: 中学校の数学の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H29	54	30	11	5
	H30	53	31	12	4



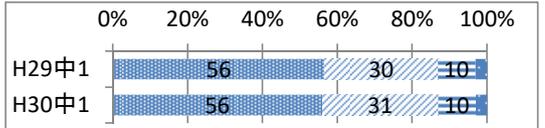
質問事項42: 小学校の算数で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	76	20	3	1
	H30	75	21	3	1



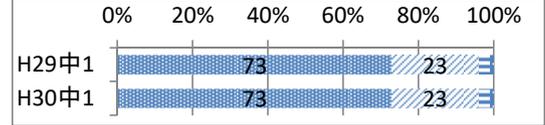
質問事項43: 中学校の社会の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H29	56	30	10	3
	H30	56	31	10	3



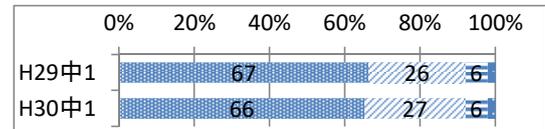
質問事項44: 小学校の社会で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	73	23	3	1
	H30	73	23	3	1



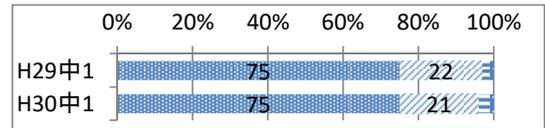
質問事項45: 中学校の理科の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H29	67	26	6	2
	H30	66	27	6	2



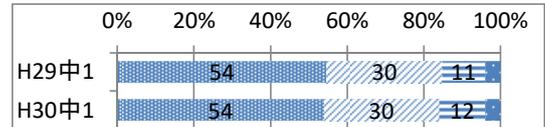
質問事項46: 小学校の理科で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると
思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	75	22	2	1
	H30	75	21	3	1



質問事項47: 中学校の英語の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H29	54	30	11	4
	H30	54	30	12	4



質問事項48: 小学校の外国語活動で学習したことを、中学校の学習でも
いかしていけると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H29	69	25	4	2
	H30	69	24	5	2

